

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(強度計算書:火山関係)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別、 目録番号	図書名称	該当頁					
設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.144	ヒアリング (R3.1.7)	-	設置許可 まとめ資料 6条	島根原子力発電所2号炉 外部からの衝撃による損傷 の防止(6条)	6条-別添3 (火山)-1- 48.49	原子炉建物に対する降下火砕物の影響評価について、降下火砕物堆積量、積雪荷重等の荷重条件、屋根トラスの部材及びその材質、屋根スラブ厚、許容限界の考え、補強の有無等、類似の先行プラントとの共通点及び相違点を詳細に分析・整理した上で、島根2号炉の特性を踏まえて、詳細設計段階での設計方針を整理して説明すること。	今回回答	原子炉建物に対する降下火砕物の影響評価について、類似の先行プラントとの比較等を含めて、島根2号炉における詳細設計段階での設計方針を説明済みです。(審査会合(R3.1.19))にて説明済み) 原子炉建物及びタービン建物の屋根トラスについて、降下火砕物等の静的負荷に対する影響評価を行い、構造健全性に影響ないことを確認しました。	NS2-添3-014-03「VI-3-別添2-1-3 原子炉建物の強度計算の方針」 NS2-添3-014-13「VI-3-別添2-5 原子炉建物の強度計算書」 NS2-添3-014-04「VI-3-別添2-1-4 タービン建物の強度計算の方針」 NS2-添3-014-14「VI-3-別添2-6 タービン建物の強度計算書」	分類[E]
設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.145	ヒアリング (R3.1.7)	-	設置許可 まとめ資料 6条	島根原子力発電所2号炉 外部からの衝撃による損傷 の防止(6条)	6条-別添3 (火山)-1- 48.49	原子炉建物のうち屋根スラブについて、評価対象部位を図示した上で、評価の概要を整理して説明すること。また、詳細設計段階での設計方針を整理して説明すること。	今回回答	原子炉建物の屋根スラブについて、評価対象部位、評価の概要及び詳細設計段階の設計方針を説明済みです。(審査会合(R3.1.19))にて説明済み) 原子炉建物、タービン建物、制御室建物、廃棄物処理建物及び排気筒モニタ室の屋根スラブ等について、降下火砕物等の静的負荷に対する影響評価を行い、構造健全性に影響ないことを確認しました。	NS2-添3-014-03「VI-3-別添2-1-3 原子炉建物の強度計算の方針」 NS2-添3-014-13「VI-3-別添2-5 原子炉建物の強度計算書」 NS2-添3-014-04「VI-3-別添2-1-4 タービン建物の強度計算の方針」 NS2-添3-014-14「VI-3-別添2-6 タービン建物の強度計算書」 NS2-添3-014-05「VI-3-別添2-1-5 制御室建物の強度計算の方針」 NS2-添3-014-15「VI-3-別添2-7 制御室建物の強度計算書」 NS2-添3-014-06「VI-3-別添2-1-6 廃棄物処理建物の強度計算の方針」 NS2-添3-014-16「VI-3-別添2-8 廃棄物処理建物の強度計算書」 NS2-添3-014-07「VI-3-別添2-1-7 排気筒モニタ室の強度計算の方針」 NS2-添3-014-17「VI-3-別添2-9 排気筒モニタ室の強度計算書」	分類[E]
設置変更許可 審査からの 申送り事項 No.146	審査会合 (R2.12.15)	-	設置許可 まとめ資料 6条	島根原子力発電所2号炉 外部からの衝撃による損傷 の防止(6条)	6条-別添3 (火山)-1- 48.49	建物に係る影響評価について、島根2号炉は降下火砕物の堆積厚が先行機に比べて厚いことから、詳細設計段階ではより実状に近い条件で安全性を確認するために、原子炉建物については3次元立体モデルを用いた応力評価結果を説明すること。設置変更許可段階ではその解析条件について、東海第二と比較して部材の補強情報と共に説明すること。屋根スラブについても結果だけでなく先行審査と同様に設計方針、設計条件について説明すること。	今回回答	原子炉建物屋根スラブについて、設計時の構造計算結果に基づく評価による評価フロー、評価条件及び評価結果を説明済みです。(審査会合(R3.1.19))にて説明済み) 原子炉建物屋根トラスについて、3次元フレームモデルを用いた応力評価を実施しました。その結果、主トラスの各部材に発生する応力が構造強度を確保するための許容限界を超えないことを確認しました。	NS2-添3-014-03「VI-3-別添2-1-3 原子炉建物の強度計算の方針」 NS2-添3-014-13「VI-3-別添2-5 原子炉建物の強度計算書」	分類[E]

島根原子力発電所第2号機 指摘事項に対する回答整理表(強度計算書:火山関係)

No.	指摘日	資料の該当箇所				コメント内容	回答日	回答	資料等への 反映箇所	備考
		ヒアリング 資料番号	図書種別 目録番号	図書名称	該当頁					
1	2022/7/1	NS2-添3-014-01	強度(計算方針)(VI-3-別添2-1-1)	VI-3-別添2-1-1 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算の方針	P.12	海水ポンプの評価対象部位について、基礎ボルトが評価対象にならない理由を説明すること。	後日回答			
2	2022/7/1	NS2-添3-014-11	強度(計算書)(VI-3-別添2-3)	VI-3-別添2-3 原子炉補機海水ポンプ及び高圧炉心スプレイ補機海水ポンプの強度計算書	P.5	降下火砕物等が堆積した時の風荷重の受圧面積の設定の考え方について説明すること。	後日回答			

島根原子力発電所第2号機 工認記載適正化箇所(強度計算書:火山関係)

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
No.1~35は、NS2-他-141にて整理済みのため省略。						
36	NS2-添3-014-03	VI-3-別添2-1-3 原子炉建物の強度計算の方針	目次,P.1,12	他の申請図書と記載を統一しました。(下線部参照) (旧)適用規格 (新)適用規格・基準等	2022/9/12	
37	NS2-添3-014-03	VI-3-別添2-1-3 原子炉建物の強度計算の方針	P.1,3	「VI-3-別添2-2 防護対策施設の強度計算の方針」の追加に伴い、図書番号の繰り下げを行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-別添2-4「原子炉建物の強度計算書」 (新)VI-3-別添2-5「原子炉建物の強度計算書」	2022/9/12	
38	NS2-添3-014-03	VI-3-別添2-1-3 原子炉建物の強度計算の方針	P.2,3	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)屋根トラス及び耐震壁等 (新)屋根トラス_耐震壁等	2022/9/12	
39	NS2-添3-014-03	VI-3-別添2-1-3 原子炉建物の強度計算の方針	P.7,8	重力加速度の記号を他の申請図書に合わせ、修正しました。 (旧)g (新)g	2022/9/12	
40	NS2-添3-014-03	VI-3-別添2-1-3 原子炉建物の強度計算の方針	P.11	誤記を修正しました。 (旧)ついでの (新)関する	2022/9/12	
41	NS2-添3-014-04	VI-3-別添2-1-4 タービン建物の強度計算の方針	目次,P.1,11	他の申請図書と記載を統一しました。(下線部参照) (旧)適用規格 (新)適用規格・基準等	2022/9/12	
42	NS2-添3-014-04	VI-3-別添2-1-4 タービン建物の強度計算の方針	P.1,3	「VI-3-別添2-2 防護対策施設の強度計算の方針」の追加に伴い、図書番号の繰り下げを行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-別添2-5「タービン建物の強度計算書」 (新)VI-3-別添2-6「タービン建物の強度計算書」	2022/9/12	
43	NS2-添3-014-04	VI-3-別添2-1-4 タービン建物の強度計算の方針	P.2,3	記載を適正化しました。(下線部参照) (旧)屋根トラス及び耐震壁等 (新)屋根トラス_耐震壁等	2022/9/12	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
44	NS2-添3-014-04	VI-3-別添2-1-4 タービン建物の強度計算の方針	P.7,8	重力加速度の記号を他の申請図書に合わせ、修正しました。 (旧)g (新)g	2022/9/12	
45	NS2-添3-014-05	VI-3-別添2-1-5 制御室建物の強度計算の方針	目次,P.1,11	他の申請図書と記載を統一しました。(下線部参照) (旧)適用規格 (新)適用規格・基準等	2022/9/12	
46	NS2-添3-014-05	VI-3-別添2-1-5 制御室建物の強度計算の方針	P.1,3	「VI-3-別添2-2 防護対策施設の強度計算の方針」の追加に伴い、図書番号の繰り下げを行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-別添2-6「制御室建物の強度計算書」 (新)VI-3-別添2-7「制御室建物の強度計算書」	2022/9/12	
47	NS2-添3-014-05	VI-3-別添2-1-5 制御室建物の強度計算の方針	P.7,8	重力加速度の記号を他の申請図書に合わせ、修正しました。 (旧)g (新)g	2022/9/12	
48	NS2-添3-014-06	VI-3-別添2-1-6 廃棄物処理建物の強度計算の方針	目次,P.1,11	他の申請図書と記載を統一しました。(下線部参照) (旧)適用規格 (新)適用規格・基準等	2022/9/12	
49	NS2-添3-014-06	VI-3-別添2-1-6 廃棄物処理建物の強度計算の方針	P.1,3	「VI-3-別添2-2 防護対策施設の強度計算の方針」の追加に伴い、図書番号の繰り下げを行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-別添2-7「廃棄物処理建物の強度計算書」 (新)VI-3-別添2-8「廃棄物処理建物の強度計算書」	2022/9/12	
50	NS2-添3-014-06	VI-3-別添2-1-6 廃棄物処理建物の強度計算の方針	P.7,8	重力加速度の記号を他の申請図書に合わせ、修正しました。 (旧)g (新)g	2022/9/12	
51	NS2-添3-014-07	VI-3-別添2-1-7 排気筒モニタ室の強度計算の方針	目次,P.1,11	他の申請図書と記載を統一しました。(下線部参照) (旧)適用規格 (新)適用規格・基準等	2022/9/12	
52	NS2-添3-014-07	VI-3-別添2-1-7 排気筒モニタ室の強度計算の方針	P.1,3	「VI-3-別添2-2 防護対策施設の強度計算の方針」の追加に伴い、図書番号の繰り下げを行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-別添2-8「排気筒モニタ室の強度計算書」 (新)VI-3-別添2-9「排気筒モニタ室の強度計算書」	2022/9/12	
53	NS2-添3-014-07	VI-3-別添2-1-7 排気筒モニタ室の強度計算の方針	P.4	表3-1構造計画に記載の平面図について、(単位:m)という説明が表題と図中の2箇所に記載されていたため、図中の記載を削除し、表題のみの記載に適正化しました。(下線部参照) (旧)(単位:m) (新)記載なし	2022/9/12	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
54	NS2-添3-014-07	VI-3-別添2-1-7 排気筒モニタ室の強度計算の方針	P.7,8	重力加速度の記号を他の申請図書に合わせ、修正しました。 (旧)g (新)g	2022/9/12	
55	NS2-添3-014-13	VI-3-別添2-5 原子炉建物の強度計算書	表紙	「VI-3-別添2-2 防護対策施設の強度計算の方針」の追加に伴い、図書番号の繰り下げを行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-別添2-4「原子炉建物の強度計算書」 (新)VI-3-別添2-5「原子炉建物の強度計算書」	2022/9/12	
56	NS2-添3-014-13	VI-3-別添2-5 原子炉建物の強度計算書	目次	資料修正に伴いページ番号を変更しました。	2022/9/12	
57	NS2-添3-014-13	VI-3-別添2-5 原子炉建物の強度計算書	P.10,39,45	表3-4の鉛直荷重一覧について、固定荷重の記載に誤記があったため修正し、それに伴い図4-4の評価対象箇所及び表4-4の評価結果を修正しました。 上記に伴い、評価対象箇所数に変更となったため、表番号を適正化しました。	2022/9/12	
58	NS2-添3-014-13	VI-3-別添2-5 原子炉建物の強度計算書	P.12	記載を追記しました。(下線部参照) (旧)ZG, Zb: (新)ZG, Zb, α :	2022/9/12	
59	NS2-添3-014-13	VI-3-別添2-5 原子炉建物の強度計算書	P.17	誤記を修正しました。 (旧)についての (新)関する	2022/9/12	
60	NS2-添3-014-13	VI-3-別添2-5 原子炉建物の強度計算書	P.20	表3-18部材リストについて、斜材の形状寸法の記載に誤記があったため、不要な記載を削除しました。 (旧)2CTs-125×250×9×14 (新)記載なし	2022/9/12	
61	NS2-添3-014-13	VI-3-別添2-5 原子炉建物の強度計算書	P.21~25	つなぎばりについて解析モデルの明確化のため、図3-3つなぎばり解析モデル図を追加しました。また、それに伴い図番号を適正化しました。	2022/9/12	
62	NS2-添3-014-13	VI-3-別添2-5 原子炉建物の強度計算書	P.27,28,32,33	記載を適正化しました。 (旧)I (新)L	2022/9/12	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
63	NS2-添3-014-13	VI-3-別添2-5 原子炉建物の強度計算書	P.28,42~48	<p>屋根スラブの評価方法について、他の申請図書と評価方法を統一しました。</p> <p>①四辺固定版でのせん断力の算出におけるスラブ辺長比により定まる係数について、評価対象スラブ毎に鉄筋コンクリート構造計算用資料集の図表による個別の読み値としていましたが、全てのスラブをRC規準 解説 図10.1に基づいた値に変更し、算定式の記載を以下のとおり修正しました。(下線部参照)</p> <p>(旧)・せん断力(Q)</p> $Q = \beta \cdot w \cdot l_x$ <p>ここで、 β :スラブの辺長比(l_y/l_x)により定まる係数</p> <p>(新)・短辺方向のせん断力(Qx)</p> $Q_x = 0.52 \cdot w \cdot l_x$ <p>・長辺方向のせん断力(Qy)</p> $Q_y = 0.46 \cdot w \cdot l_x$ <p>②面外せん断力に対する断面の評価方法における許容せん断力の割増し係数αについて、全てのスラブを$\alpha = 1$として評価していましたが、評価対象スラブ毎に個別に算定した値により評価する方法に変更し、当該係数の明確化のため、評価結果の表に「せん断スパン比による割増し係数 α」の欄を設け数値を追記しました。</p>	2022/9/12	
64	NS2-添3-014-13	VI-3-別添2-5 原子炉建物の強度計算書	P.28,29,31,34,36,42~48	<p>記載を適正化しました。</p> <p>(旧)引張り (新)引張</p>	2022/9/12	
65	NS2-添3-014-13	VI-3-別添2-5 原子炉建物の強度計算書	P.38,45~48	<p>屋根スラブのせん断力に対する評価方法の変更に伴い、せん断力に対する検定値の最も大きい箇所が変更となったため、図4-3に記載する評価対象箇所を変更しました。また、上記に伴い、評価対象箇所数が増えたとしたため、評価結果の表番号及び表題を適正化しました。</p>	2022/9/12	
66	NS2-添3-014-13	VI-3-別添2-5 原子炉建物の強度計算書	P.42~48	<p>屋根スラブのせん断力に対する評価方法の変更に伴い、面外せん断力に対する評価結果について適正化しました。</p>	2022/9/12	
67	NS2-添3-014-13	VI-3-別添2-5 原子炉建物の強度計算書	P.42	<p>有効せいに誤記があったため、表4-1に記載の有効せいの値を修正し、それに伴い曲げモーメントに対する評価結果について修正しました。</p>	2022/9/12	
68	NS2-添3-014-13	VI-3-別添2-5 原子炉建物の強度計算書	P.49	<p>表4-10上弦材の発生応力について誤記を修正しました。</p> <p>(旧)圧縮 (新)引張り</p>	2022/9/12	
69	NS2-添3-014-14	VI-3-別添2-6 タービン建物の強度計算書	表紙	<p>「VI-3-別添2-2 防護対策施設の強度計算の方針」の追加に伴い、図書番号の繰り下げを行いました。(下線部参照)</p> <p>(旧)VI-3-別添2-5「タービン建物の強度計算書」 (新)VI-3-別添2-6「タービン建物の強度計算書」</p>	2022/9/12	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
70	NS2-添3-014-14	VI-3-別添2-6 タービン建物の強度計算書	目次	資料修正に伴いページ番号を変更しました。	2022/9/12	
71	NS2-添3-014-14	VI-3-別添2-6 タービン建物の強度計算書	P.8,37,38,40,42	表3-2～5の鉛直荷重一覧について、固定荷重の記載に誤記があったため修正し、それに伴い検定値の最大箇所が変更となるため、図4-2(評価対象箇所①)と図4-3(評価対象箇所①)に記載する評価対象箇所及び表4-2と表4-4の評価結果を修正しました。	2022/9/12	
72	NS2-添3-014-14	VI-3-別添2-6 タービン建物の強度計算書	P.10	記載を追記しました。(下線部参照) (旧)ZG, Zb: (新)ZG, Zb, α :	2022/9/12	
73	NS2-添3-014-14	VI-3-別添2-6 タービン建物の強度計算書	P.17,18	図3-1解析モデル図について、寸法等を明確化するため、図を適正化しました。	2022/9/12	
74	NS2-添3-014-14	VI-3-別添2-6 タービン建物の強度計算書	P.19,20	部材リストについて、斜材及び束材の形状寸法に記載漏れがあったため、追記しました。また、追記に伴い、表3-16を(1)と(2)に分割しました。	2022/9/12	
75	NS2-添3-014-14	VI-3-別添2-6 タービン建物の強度計算書	P.27,28,32,33	記載を適正化しました。 (旧)I (新)L	2022/9/12	
76	NS2-添3-014-14	VI-3-別添2-6 タービン建物の強度計算書	P.28,39～43	屋根スラブの評価方法について、他の申請図書と評価方法を統一しました。 ①四辺固定版でのせん断力の算出におけるスラブ辺長比により定まる係数について、評価対象スラブ毎に鉄筋コンクリート構造計算用資料集の図表による個別の読み値としていましたが、全てのスラブをRC規準 解説 図10.1に基づいた値に変更し、算定式の記載を以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)・せん断力(Q) $Q = \beta \cdot w \cdot l_x$ ここで、 β :スラブの辺長比(l_y / l_x)により定まる係数 (新)・短辺方向のせん断力(Q _x) $Q_x = 0.52 \cdot w \cdot L_x$ ・長辺方向のせん断力(Q _y) $Q_y = 0.46 \cdot w \cdot L_x$ ②面外せん断力に対する断面の評価方法における許容せん断力の割増し係数 α について、全てのスラブを $\alpha = 1$ として評価していましたが、評価対象スラブ毎に個別に算定した値により評価する方法に変更し、当該係数の明確化のため、評価結果の表に「せん断スパン比による割増し係数 α 」の欄を設け数値を追記しました。	2022/9/12	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
77	NS2-添3-014-14	VI-3-別添2-6 タービン建物の強度計算書	P.28,29,31,34,36,39~43	記載を適正化しました。 (旧)引張り (新)引張	2022/9/12	
78	NS2-添3-014-14	VI-3-別添2-6 タービン建物の強度計算書	P.36	記載を追記しました。(下線部参照) (旧)EL 8.8m, EL 33.7m及びEL 41.6m (新)EL 8.8m, <u>EL 32.0m</u> , EL 33.7m及びEL 41.6m	2022/9/12	
79	NS2-添3-014-14	VI-3-別添2-6 タービン建物の強度計算書	P.37,41	屋根スラブのせん断力に対する評価方法の変更に伴い、せん断力に対する検定値の最も大きい箇所が変更となったため、図4-2に記載する評価対象箇所(評価対象箇所②)及び表4-3の評価結果を修正しました。	2022/9/12	
80	NS2-添3-014-14	VI-3-別添2-6 タービン建物の強度計算書	P.39~42	屋根スラブのせん断力に対する評価方法の変更に伴い、面外せん断力に対する評価結果について適正化しました。	2022/9/12	
81	NS2-添3-014-14	VI-3-別添2-6 タービン建物の強度計算書	P.44	図4-4について、斜材の部材形状に誤記があったため、修正しました。	2022/9/12	
82	NS2-添3-014-15	VI-3-別添2-7 制御室建物の強度計算書	表紙	「VI-3-別添2-2 防護対策施設の強度計算の方針」の追加に伴い、図書番号の繰り下げを行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-別添2-6「制御室建物の強度計算書」 (新)VI-3-別添2- <u>7</u> 「制御室建物の強度計算書」	2022/9/12	
83	NS2-添3-014-15	VI-3-別添2-7 制御室建物の強度計算書	P.9	記載を追記しました。(下線部参照) (旧)ZG, Zb: (新)ZG, Zb, <u>α</u> :	2022/9/12	
84	NS2-添3-014-15	VI-3-別添2-7 制御室建物の強度計算書	P.17	記載を適正化しました。 (旧)I (新)L	2022/9/12	
85	NS2-添3-014-15	VI-3-別添2-7 制御室建物の強度計算書	P.18,20,21	記載を適正化しました。 (旧)引張り (新)引張	2022/9/12	
86	NS2-添3-014-15	VI-3-別添2-7 制御室建物の強度計算書	P.21	記載を適正化しました。 (旧)上端筋 下端筋 (新)上ば筋 下ば筋	2022/9/12	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
87	NS2-添3-014-15	VI-3-別添2-7 制御室建物の強度計算書	P.21	屋根スラブの評価方法について、他の申請図書と評価方法を統一しました。 面外せん断力に対する断面の評価方法における許容せん断力の割増し係数 α について、全てのスラブを $\alpha = 1$ として評価していましたが、評価対象スラブ毎に個別に算定した値により評価する方法に変更し、当該係数の明確化のため、評価結果の表に「せん断スパン比による割増し係数 α 」の欄を設け数値を追記しました。 また、それに伴い面外せん断力に対する評価結果について適正化しました。	2022/9/12	
88	NS2-添3-014-16	VI-3-別添2-8 廃棄物処理建物の強度計算書	表紙	「VI-3-別添2-2 防護対策施設の強度計算の方針」の追加に伴い、図書番号の繰り下げを行いました。(下線部参照) (旧) VI-3-別添2-7「廃棄物処理建物の強度計算書」 (新) VI-3-別添2-8「廃棄物処理建物の強度計算書」	2022/9/12	
89	NS2-添3-014-16	VI-3-別添2-8 廃棄物処理建物の強度計算書	P.10	記載を追記しました。(下線部参照) (旧) ZG, Zb: (新) ZG, Zb, α :	2022/9/12	
90	NS2-添3-014-16	VI-3-別添2-8 廃棄物処理建物の強度計算書	P.18,19	記載を適正化しました。 (旧) l (新) L	2022/9/12	
91	NS2-添3-014-16	VI-3-別添2-8 廃棄物処理建物の強度計算書	P.19,24~26	屋根スラブの評価方法について、他の申請図書と評価方法を統一しました。 ①四辺固定版でのせん断力の算出におけるスラブ辺長比により定まる係数について、評価対象スラブ毎に鉄筋コンクリート構造計算用資料集の図表による個別の読み値としていましたが、全てのスラブをRC規準 解説 図10.1に基づいた値に変更し、算定式の記載を以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)・せん断力(Q) $Q = \beta \cdot w \cdot l_x$ ここで、 β :スラブの辺長比(l_y/l_x)により定まる係数 (新)・短辺方向のせん断力(Q _x) $Q_x = 0.52 \cdot w \cdot L_x$ ・長辺方向のせん断力(Q _y) $Q_y = 0.46 \cdot w \cdot L_x$ ②面外せん断力に対する断面の評価方法における許容せん断力の割増し係数 α について、全てのスラブを $\alpha = 1$ として評価していましたが、評価対象スラブ毎に個別に算定した値により評価する方法に変更し、当該係数の明確化のため、評価結果の表に「せん断スパン比による割増し係数 α 」の欄を設け数値を追記しました。	2022/9/12	
92	NS2-添3-014-16	VI-3-別添2-8 廃棄物処理建物の強度計算書	P.19,20,22,24~26	記載を適正化しました。 (旧) 引張り (新) 引張	2022/9/12	
93	NS2-添3-014-16	VI-3-別添2-8 廃棄物処理建物の強度計算書	P.23,25	屋根スラブのせん断力に対する評価方法の変更に伴い、検定値の最も大きい箇所が変更となったため、図4-2に記載する評価対象箇所(評価対象箇所①)及び表4-2の評価結果を修正しました。	2022/9/12	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
94	NS2-添3-014-16	VI-3-別添2-8 廃棄物処理建物の強度計算書	P.24~26	屋根スラブのせん断力に対する評価方法の変更に伴い、面外せん断力に対する評価結果について適正化しました。	2022/9/12	
95	NS2-添3-014-17	VI-3-別添2-9 排気筒モニタ室の強度計算書	表紙	「VI-3-別添2-2 防護対策施設の強度計算の方針」の追加に伴い、図書番号の繰り下げを行いました。(下線部参照) (旧)VI-3-別添2-8「排気筒モニタ室の強度計算書」 (新)VI-3-別添2-9「排気筒モニタ室の強度計算書」	2022/9/12	
96	NS2-添3-014-17	VI-3-別添2-9 排気筒モニタ室の強度計算書	P.9	記載を追記しました。(下線部参照) (旧)ZG, Zb: (新)ZG, Zb, α :	2022/9/12	
97	NS2-添3-014-17	VI-3-別添2-9 排気筒モニタ室の強度計算書	P.13	図3-1解析モデル図について、寸法等を明確化するため、図を適正化しました。	2022/9/12	
98	NS2-添3-014-17	VI-3-別添2-9 排気筒モニタ室の強度計算書	P.13,25,27	記載を適正化しました。 (旧)上端・下端共 (新)上ば・下ばとも	2022/9/12	
99	NS2-添3-014-17	VI-3-別添2-9 排気筒モニタ室の強度計算書	P.16,17	記載を適正化しました。 (旧)I (新)L	2022/9/12	
100	NS2-添3-014-17	VI-3-別添2-9 排気筒モニタ室の強度計算書	P.16,17,23	屋根スラブの評価方法について、他の申請図書と評価方法を統一しました。 ①四辺固定版でのせん断力の算出におけるスラブ辺長比により定まる係数について、評価対象スラブ毎に鉄筋コンクリート構造計算用資料集の図表による個別の読み値としていましたが、全てのスラブをRC規準 解説 図10.1に基づいた値に変更し、算定式の記載を以下のとおり修正しました。(下線部参照) (旧)・せん断力(Q) $Q = \beta \cdot w \cdot l_x$ ここで、 β :スラブの辺長比(l_y / l_x)により定まる係数 (新)・短辺方向のせん断力(Qx) $Q_x = 0.52 \cdot w \cdot L_x$ ・長辺方向のせん断力(Qy) $Q_y = 0.46 \cdot w \cdot L_x$ ②面外せん断力に対する断面の評価方法における許容せん断力の割増し係数 α について、全てのスラブを $\alpha = 1$ として評価していましたが、評価対象スラブ毎に個別に算定した値により評価する方法に変更し、当該係数の明確化のため、評価結果の表に「せん断スパン比による割増し係数 α 」の欄を設け数値を追記しました。	2022/9/12	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
101	NS2-添3-014-17	VI-3-別添2-9 排気筒モニタ室の強度計算書	P.17~19,22~27	記載を適正化しました。 (旧)引張り (新)引張	2022/9/12	
102	NS2-添3-014-17	VI-3-別添2-9 排気筒モニタ室の強度計算書	P.21	記載を適正化しました。 (旧) $\lambda \leq \Lambda$ (新) $\lambda > \Lambda$	2022/9/12	
103	NS2-添3-014-17	VI-3-別添2-9 排気筒モニタ室の強度計算書	P.23	屋根スラブのせん断力に対する評価方法の変更に伴い、面外せん断力に対する評価結果について適正化しました。	2022/9/12	
104	NS2-添3-014-10	VI-3-別添2-2-1 取水槽循環水ポンプエリア防護対策設備の強度計算の方針	P.12,14	評価対象部位とした鋼板の中間部に位置する支持部材を、応力評価上評価しないことについて記載を追加しました。	2022/9/12	
105	NS2-添3-014-10	VI-3-別添2-2-1 取水槽循環水ポンプエリア防護対策設備の強度計算の方針	P.13	表5-2中の単位を修正しました。	2022/9/12	
106	NS2-添3-014-19	VI-3-別添2-11 取水槽循環水ポンプエリア防護対策設備の強度計算書	目次	記載の適正化に伴いページ番号が変更となったため、目次のページ番号を修正しました。	2022/9/12	
107	NS2-添3-014-19	VI-3-別添2-11 取水槽循環水ポンプエリア防護対策設備の強度計算書	P.3,5	図2-5の一部を削除したことに伴い図番号及び記載を修正しました。	2022/9/12	
108	NS2-添3-014-19	VI-3-別添2-11 取水槽循環水ポンプエリア防護対策設備の強度計算書	P.7,8	表3-1中の単位を修正しました。	2022/9/12	
109	NS2-添3-014-19	VI-3-別添2-11 取水槽循環水ポンプエリア防護対策設備の強度計算書	P.12	評価対象部位とした鋼板の中間部に位置する支持部材を、応力評価上評価しないことについて記載を追加しました。	2022/9/12	
110	NS2-添3-014-19	VI-3-別添2-11 取水槽循環水ポンプエリア防護対策設備の強度計算書	P.18	表4-5中の単位を修正しました。(下線部参照) (旧) $d_a(\text{mm}^2)$ (新) $d_a(\text{mm})$	2022/9/12	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
111	NS2-添3-014-08	VI-3-別添2-1-8 ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算の方針	表紙, 目次, P.1~5,7,9~12	評価対象施設に「ディーゼル燃料貯蔵タンク室」を, 評価対象部位に「鋼製蓋」を追加し, 当該内容に関する概要や方針等を追記しました。また, 追加に伴い表番号, 図書名称及び頁の修正を行いました。	2022/9/12	
112	NS2-添3-014-08	VI-3-別添2-1-8 ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算の方針	P.1.3	「VI-3-別添2-2 防護対策施設の強度計算の方針」の追加に伴う図書番号の繰り下げ及び図書名称の修正を行いました。(下線部参照) (旧) VI-3-別添2-9「B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算書」 (新) VI-3-別添2-10「ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算書」	2022/9/12	
113	NS2-添3-014-08	VI-3-別添2-1-8 ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算の方針	P.1.12	他の申請図書と記載を統一しました。(下線部参照) (旧)適用規格 (新)適用規格・基準等	2022/9/12	
114	NS2-添3-014-08	VI-3-別添2-1-8 ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算の方針	P.3	評価対象施設及び評価対象部位の追加に伴い, 記載を修正しました。(下線部参照) (旧)B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の頂版及び~ (新)頂版及び~	2022/9/12	
115	NS2-添3-014-08	VI-3-別添2-1-8 ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算の方針	P.3.5	適正化箇所No.111の追加に伴い, 表番号, 表名称を修正しました。(下線部参照) (旧)表3-1 構造計画 (新)表3-2 B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の構造計画	2022/9/12	
116	NS2-添3-014-08	VI-3-別添2-1-8 ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算の方針	P.5	評価対象部位を明確化するため, 平面図, A-A断面図及びB-B断面図に評価対象部位を追記しました。	2022/9/12	
117	NS2-添3-014-08	VI-3-別添2-1-8 ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算の方針	P.5	評価対象施設及び評価対象部位の追加に伴い, 記載を修正しました。(下線部参照) (旧)B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽 A-A断面図 (新)A-A断面図 (旧)B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽 B-B断面図 (新)B-B断面図	2022/9/12	
118	NS2-添3-014-08	VI-3-別添2-1-8 ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算の方針	P.8.9	重力加速度の記号を他の申請図書に合わせ, 修正しました。 (旧)g (新)g	2022/9/12	
119	NS2-添3-014-08	VI-3-別添2-1-8 ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算の方針	P.10	適正化箇所No.111の追加に伴い, 表番号, 表名称を修正しました。(下線部参照) (旧)表4-4 許容限界 (新)表4-5 B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の許容限界	2022/9/12	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
120	NS2-添3-014-08	VI-3-別添2-1-8 ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算の方針	P.12	適用規格・基準等に以下を追加しました。 ・発電用原子力設備規格 設計・建設規格 JSME S NC1-2005/2007((社)日本機械学会) ・鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説-許容応力度設計法-((社)日本建築学会, 1999改定) ・原子力施設鉄筋コンクリート構造計算規準・同解説((社)日本建築学会, 2005制定)	2022/9/12	
121	NS2-添3-014-18	VI-3-別添2-10 ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算書	表紙	「VI-3-別添2-2 火山防護対策設備の強度計算の方針」の追加に伴い、図書番号を繰り下げました。(下線部参照) (旧)VI-3-別添2-9 B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算書 (新)VI-3-別添2-10 B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算書	2022/9/12	
122	NS2-添3-014-18	VI-3-別添2-10 ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算書	P.3.5	評価対象部位を明確化するため、図2-3及び図2-5に評価対象部位を追記しました。	2022/9/12	
123	NS2-添3-014-18	VI-3-別添2-10 ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算書	P.12	評価対象施設及び評価対象部位の追加に伴い、表3-5の注記の記載を修正しました。	2022/9/12	
124	NS2-添3-014-18	VI-3-別添2-10 ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算書	P.15	他の申請図書と記載を統一しました。(下線部参照)併せて、表3-13について、記号の定義を追加しました。 (旧)ft* (新)ft*	2022/9/12	
125	NS2-添3-014-18	VI-3-別添2-10 ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算書	P.16	B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽のうち、VI-2-2-22「B-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の地震応答計算書」で用いた解析モデルとVI-3-別添2-10「ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算書」で用いた解析モデルの相違点について、記載を拡充しました。	2022/9/12	
126	NS2-添3-014-18	VI-3-別添2-10 ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算書	P.16	図3-1の岩盤の凡例に関する記載を修正しました。	2022/9/12	
127	NS2-添3-014-18	VI-3-別添2-10 ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算書	P.19	記載を適正化しました。 (旧)I (新)L	2022/9/12	
128	NS2-添3-014-18	VI-3-別添2-10 ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算書	P.20	記載を適正化しました。 (旧)引張り (新)引張	2022/9/12	

No.	図書番号	図書名称	該当頁	適正化内容	提出年月日	備考
129	NS2-添3-014-18	VI-3-別添2-10 ディーゼル燃料貯蔵タンク室及びB-ディーゼル燃料貯蔵タンク格納槽の強度計算書	P.20,24	ディーゼル燃料貯蔵タンク室(頂版)の面外せん断力に対する評価方法について、他の申請図書と評価方法を統一しました。 面外せん断力に対する断面の評価方法における許容せん断力の割増し係数 α について、全てのスラブを $\alpha = 1$ として評価していましたが、評価対象スラブ毎に個別に算定した値により評価する方法に変更し、当該係数の明確化のため、評価結果の表に「せん断スパン比による割増し係数 α 」の欄を設け数値を追記しました。 また、それに伴い面外せん断力に対する評価結果について適正化しました。	2022/9/12	